

# 西光寺だより

第二〇号 令和二年 八月一日発行

お浄土で

必ず 必ず

待っているから

人の命は、どうしてこんなにもはかないのか？

命の終わりに向き合った時、一生を夢、まぼろしの

ように感じ、その行方を求めずにはいられません・・・

浄土真宗の開祖、親鸞聖人は晩年、この命の行方につい

て、お弟子に宛てた手紙にこう綴っておられます。

「お浄土で、必ず、必ず、待っているから」

お浄土とは、大切な人と再び会うことができる世界。

なぜならそこは、阿弥陀さまの「必ず救う、我にまか

せよ」というよび声を素直に聞き、皆、等しく、生ま

れて行く世界であるから。そして大切な人は、阿弥陀さ

まと同じ仏と成り、阿弥陀さまと共に、常に私にはたら

きかけ、いつまでも待っていてくださっているのです。

亡き人を偲ぶお盆。私はその尊い方々に手を合わせ、

「ありがとう」とお念仏するのです。

## ◆九・十月の行事◆

・九月 在家報恩講

・九月 十七日(木)

大谷本廟墓参(みのり講・穂積講の方)

午後二時

大谷本廟お茶所

※なお、墓参の際、念珠・経本・千円を宜しくお願い致します。

行かれない方は千円を西光寺、又はお逮夜参りの際によりしく

お願い致します。今のところ自粛行動の中、自己判断のうえ、

ご参加いただけたらと思います。

・九月 二十三日(水)

仏教婦人会報恩講

午後一時～午後一時三十分

西光寺本堂

※コロナ感染症予防のためお勤めのみとさせて頂きます。

令和元年度の事業・会計報告はポストに入れさせて頂きます。

・十月 一日(木)

秋季永代経法要

午後二時・七時

西光寺本堂

◎布教使 宮部 誓雅 師

※なお、感染症対策としてお勤めのみとなるかもしれませんが、ご了承のほどよろしく願いいたします。